

2021 年 8 月 4 日

株式会社タベルモの株式譲渡について

株式会社 INCJ（本社：東京都港区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有する株式会社タベルモ（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：藤田朋宏）の株式の全部を Chitose Bio Evolution Pte. Ltd.（シンガポール、CEO：藤田朋宏、以下「Chitose Bio Evolution」）に譲渡することを決定し、このほど譲渡が完了したのでお知らせします。

株式会社タベルモについて

設立 : 2014 年 7 月
所在地 : 東京都千代田区
代表者 : 代表取締役 CEO 藤田朋宏
事業内容 : スピルリナの培養技術と用途の開発・生産・販売
URL : <https://www.taberumo.jp/>

Chitose Bio Evolution Pte. Ltd.について

設立 : 2011 年 10 月
所在地 : シンガポール
代表者 : CEO 藤田朋宏
事業内容 : バイオ産業の創造・確立のための戦略投資・研究開発・事業開発
URL : <https://chitose-bio.com/jp/>

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

【別紙】

1. 対象会社

- ・ 事業者名：株式会社タベルモ
- ・ 事業開始：2014 年 7 月
- ・ 所在地：東京都千代田区
- ・ 代表者：代表取締役 CEO 藤田朋宏
- ・ 事業内容：スピルリナの培養技術と用途の開発・生産・販売

2. 支援決定内容

- ・ 支援決定公表日：2018 年 5 月
- ・ 支援決定金額：8.5 億円（上限）
- ・ 実投資額：8.5 億円

「藻類由来タンパクの生産・食品開発を手掛けるタベルモへの出資について～スピルリナで将来のタンパク質需要増大へ対応～」

<https://www.incj.co.jp/newsroom/be0aed6f009198a43305c457d7e27c20ddb046b3.pdf>

3. 経緯

(1) 出資の経緯

タベルモはちとせグループが 2014 年に全額出資して設立したバイオベンチャー企業で、タンパク質を豊富に含む藻類であるスピルリナの培養技術と用途の開発・生産・販売を行っている。藻類は光合成のみでの増殖が可能で、単位面積あたりの生産性が非常に高いことから、新たなタンパク質源として注目されている。特にスピルリナはタンパク質含有量が約 70%（乾燥重量ベース）と圧倒的に高く、それ以外にも、ビタミン、ミネラル、食物繊維などを豊富に含んでいる。

世界的な人口増加と新興国の経済発展による食生活の変化にともない、世界のタンパク質需要の大幅な増加が見込まれることから、INCJ と三菱商事は、持続可能なタンパク質供給ソース多様化への貢献を期待し、2018 年 5 月、タベルモに対して総額 17 億円を折半にて出資した。

(2) 事業の進捗

タベルモは、無味無臭かつ栄養価の高い状態でスピルリナを消費者に提供するため、「生スピルリナ」を使った食品の開発にも取り組み、様々な商品を提供している。

自社 EC でのダイレクトマーケティングの他、販路拡大のため、大手食品卸を通じた大手リテール・外食チェーンへの販売や、小規模カフェ・レストランへの直接販売、食品メーカーとの製品共同研究開発および販売にも取り組んでいる。

更に、JAXA 及びシダックスグループと「月面農場における食用藻類スピルリナの循環型培養システムの改良と生スピルリナ入りメニュー開発」の共同研究を行うなど、スピルリナの幅広い活用を推進している。

(3) Exit の経緯・内容

INCJ は、2018 年の投資以後、タベルモに対して支援を行ってきたが、同社の継続的な事業成長のため、ちとせグループの統括会社である Chitose Bio Evolution に対して、保有する株式の全部を譲渡することとした。

ちとせグループは、バイオベンチャー企業群で、バイオ分野の技術開発やバイオ技術の事業化に強みを有しており、農業・医療・食品・エネルギー・化学などの領域で新たな価値の創造に取り組んでいる。タベルモは、将来のタンパク質供給不足という社会問題解決のため、ちとせグループにおいて、引き続き、スピルリナの普及に取り組んでいくことになる。

4. 主務大臣（経済産業大臣）意見

ベンチャー企業等への積極的な支援は、今後も我が国の産業競争力の強化において重要である。本案件の課題を踏まえ、引き続きベンチャー企業等への支援を行うとともに、支援案件全体としての収益性の確保に努められたい。

<本発表資料に関するお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報 入江、野々宮（報道関係）

東京都港区虎ノ門 1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア

電 話：03- 5532-7086

URL：<https://www.j-ic.co.jp/jp/>

<https://www.incj.co.jp/>